

理学療法学執筆規定

令和4年3月10日

編集委員会制定

1. 論文の構成

- 1) 標題 (表題) : 内容を具体的かつ的確に表し, できるだけ簡潔に記載する。原則として略語・略称は用いない。なお, 30 字以内のランニングタイトル (簡略標題。標題を短くしたもので, 標題よりもさらに主題に絞り込んだもの。標題が 30 字以内であれば同じでもよい) を記載する。
- 2) 著者名 : 著者は当該研究・執筆に寄与するところの多い人を必要最小限に記載する。著者資格については統一規定 (註 1) を参照すること。なお, 審査開始後の著者の変更は原則認めない。
- 3) 要旨 : 「目的」「方法」「結果」「結論」について項を分けて簡潔に記載する。また, 研究論文 (原著), 短報以外の記事の種類の記事においては, 著者の判断で項目名を変更してもよい。
- 4) キーワード : 3 ~ 5 つとする。
- 5) 本文 : 本文は原則以下の項目に沿って本文を構成すること。ただし, 研究論文 (原著), 短報以外の記事の種類の記事においては, 著者の判断で項目名を変更してもよい。本文は著者等の個人を特定・推測できる情報 (所属機関名, 市区町村名, 倫理委員会名, 倫理委員会承認番号, 研究助成金承認番号, 謝辞における氏名・所属機関名等) を, 黒塗りすること。採択後黒塗りを消去した原稿を提出する。図表等も同様とする。
 - ①はじめに (序論, 緒言)

研究の背景, 臨床的意義, 研究の目的, 取り扱っている主題の範囲, 先行研究との関連性の明示などを記述する。
 - ②対象および方法

用いた研究方法について第 3 者が追試できるように記述する。倫理的配慮も記述すること。
 - ③結果 (成績)

研究で得られた結果を本文および図表を用いて記述する。データは, 検証, 追試を行いやすいように図 (グラフ) よりも表にして数値で示す方が望ましい。
 - ④考察 (分析)

結果の分析・評価, 今後の課題, などを記述する。
 - ⑤結論

研究で得られた結論を 200 ~ 300 字で簡潔に記述する。
 - ⑥利益相反

利益相反の有無について記載する。
 - ⑦謝辞

著者資格には該当しない研究への貢献者については謝辞に記載する。

6) 文献：引用文献のみとする。

2. 投稿原稿の構成

本文，図表，図表の説明文，補遺（Appendix）で構成する。

投稿原稿の書式は，一般社団法人 日本理学療法学会連合（以下，「本連合」という。）ホームページを参照すること。

標題，ランニングタイトル，著者情報，要旨，キーワードは投稿システム上へ直接入力とし，投稿論文原稿への記載は不要とする。

3. 原稿の規定分量

研究論文（原著），症例研究，システマティックレビューは，要旨・英文要旨・文献・図表を含んで原則として刷り上がり 8 頁（400 字詰め原稿用紙 40 枚・16,000 字相当）。短報は要旨・英文要旨・文献・図表を含んで原則として刷り上がり 4 頁（400 字詰め原稿用紙 24 枚・9,600 字相当）。その他は要旨・文献・図表を含んで原則として刷り上がり 6 頁（400 字詰め原稿用紙 32 枚・12,800 字相当）。図表は，刷り上がり 1/4 頁大のもの 1 個を 400 字詰め原稿用紙 1 枚として換算すること。

4. 要旨

論文には和文の要旨（400 字程度）をつける。また，研究論文（原著），症例研究および短報には 250 語程度の英文要旨をつけること。

5. 図表

図・写真・表：図・表は本文に出てくる順に，それぞれ一連番号をつける。グラフィック表現および写真は図に含める。図の番号および表題は図の下に，表の場合は表の上につける。図・表の転載は投稿前に著者の責任で転載許可をとり，投稿時に許可書を提出すること。図表の説明（キャプション）は図表の後に頁をあらたにして記載すること。スライド図・表は投稿用に作成し直す。

6. 文献

引用文献は本文の引用順に並べる。雑誌の場合は著者氏名，論文題目，雑誌名，西暦年号，巻，頁（最初～最終）の順に書き，単行本の場合は著者氏名，書名，編集者名，発行所名，発行地，西暦年号，頁を記載する。文献名の省略は米国国立医学図書館（註 2）の方法にしたがうこと。引用文献の著者氏名が 3 名以上の場合は最初の 2 名を記載する。

[例]

- 1) 宮本謙三, 竹林秀晃, 他: 加齢による敏捷性機能の変化過程— Ten Step Test を用いて—. 理学療法学. 2008; 35: 35-41.
- 2) Tompkins J, Bosch PR, et al.: Changes in functional walking distance and health-related quality of life after gastric bypass surgery. *Phys Ther.* 2008; 88: 928-935.
- 3) 信原克哉: 肩—その機能と臨床— (第3版). 医学書院, 東京, 2001, pp. 156-168.
- 4) Kocher MS: Evaluation of the medical literature. Chap 4. In: Morrissy RT and Weinstein SL (eds): Lovell and Winter's Pediatric Orthopaedics. 6th ed, Lippincott Williams & Wilkins, Philadelphia, 2006, pp. 97-112.
- 5) 名郷直樹: EBM の現状と課題, エビデンスに基づく理学療法活用と臨床思考過程の実際. 内山 靖 (編), 医歯薬出版, 東京, 2008, pp. 18-38.
- 6) 厚生労働省ホームページ 障害者白書平成 23 年度版 .
<http://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/h23hakusho/zenbun/index.html> (2011年12月19日引用)
- 7) Aboud S: Quality improvement initiative in nursing homes: the ANA acts in an advisory role. *Am J Nurs.* 2002 Jun [cited 2002 Aug 12]; 102(6): [about 1 p.]. Available from: <http://www.nursingworld.org/AJN/2002/june/Wawatch.htm>Article
- 8) Zhang M, Holman CD, et al.: Comorbidity and repeat admission to hospital for adverse drug reactions in older adults: retrospective cohort study. *BMJ.* 2009 Jan 7;338:a2752. doi: 10.1136/bmj.a2752. PubMed PMID:19129307; PubMed Central PMCID: PMC2615549.
- 9) Cancer-Pain.org [Internet]. New York: Association of Cancer Online Resources, Inc.; c2000-01 [updated 2002 May 16; cited 2002 Jul 9]. Available from: <http://www.cancer-pain.org/>.
- 10) American Medical Association [Internet]. Chicago: The Association; c1995-2002 [updated 2001 Aug 23; cited 2002 Aug 12]. AMA Office of Group Practice Liaison; [about 2 screens]. Available from: <http://www.amaassn.org/ama/pub/category/1736.html>

7. 数量の単位

単位は原則として以下のように国際単位系 (SI 単位) を用いる。

- 1) 長さ : m
- 2) 質量 : kg
- 3) 時間 : s

- 4) 温度 : °C
- 5) 周波数 : Hz

8. 略語

略語は初出時にフルスペルあるいは和訳も記載する。

9. 機器名の記載法

機器名は、「一般名（会社名，製品名）」で表記する。なお，統計ソフトは「製品名，バージョン番号，会社名」とする。

10. 英文要旨について

原則としてネイティブ・スピーカーの校閲を著者自身の責任で受けること。

11. その他

- 1) 必要がない限り表に縦線は使用しないこと。
- 2) 表・図（写真を含む）の挿入位置は本文の右欄外に指示する。
- 3) 本文には行番号およびページ番号を必ず記載する。

12. 規定の改廃

本規定の改廃は編集委員会の決議による。その後速やかに本連合理事会に報告するものとする。

註1：国際医学雑誌編集者委員会：生物医学雑誌への投稿のための統一規定

(http://www.icmje.org/urm_main.html)

註2：文献の引用例 7) ~ 8) は英文電子ジャーナル，9)，10) は英文ホームページの引用例である。詳しくは以下の米国国立医学図書館ホームページを参照すること。

(http://www.nlm.nih.gov/bsd/uniform_requirements.html)

附則

- 1. 本規定は，令和4年1月1日に遡って施行する。